

大通防災だより

第18号

熊本地震から早くも1年半が過ぎ いまや日本中いつ、どこで地震が起きるかわかりません。私たちは普段から災害への備えをしておきたいものです。そこで今回は 災害で電気、水道、ガスなどが止まったときの乗り切り方をご紹介します。



電気

明かりがないことは大きな不安！

地震などで長期間電力の供給がストップした場合どんなことが起こるでしょうか。

昼間はともかく 夜はなんらかの方法で明かりを確保する必要があります。

- (1) 一般の懐中電灯の場合 片手が塞がってしまい何かと不自由。こんな時ヘッドランプ機能(頭に取付けられる)付きの物が便利です。単三乾電池1本で15時間位使用できる軽量タイプや高輝度LED使用のタイプがあります。



※乾電池の予備をお忘れなく!!



- (2) 部屋の明かりは ローソクが安価で準備をしているご家庭も多いと思いますが、地震の場合は火災の危険が大きいので使用は避けたい。そこで ヘッドランプでさらにランタンに変身するタイプがあります。また、LEDライト、ラジオ、携帯電話充電、手回し充電など6つの機能付きで 価格も3,500円程度のもがあります。

※ 非常用のライトは用途によって使い分けられるように多数のアイテムがあります。防災用品を扱う店舗・ホームセンターなどでおたしかめください。

小さな明かりでも 災害時には心に大きな安らぎをもたらします。
心の安らぎは災害時には特に大切なことだと思います。



「大通防災だより」は
新潟市「地域活動補助」を
活用して発行しています。



発行
大通地域生活センター内
大通コミュニティ自主防災会
TEL 362-1491

水 最も大切で 切実なもの！

地震後の上下水道の復旧は 水道管の点検などで長引くことが多い。一方で水は生きる上で欠かすことのできないものです。

飲料水、調理、洗濯、入浴、トイレなど生活に必要な水がいかに多いか 想像してください。水不足は衛生状態の不備となり、感染症の発生や高齢者や子供たちの健康にも大きな影響を与えます。

- (1) 自治体が派遣して来る給水車に並ぶとき 大きなポリタンクなら水はたくさん入り安心だが、女性が大きなポリタンク(20Kg)を運ぶのは非常な重労働です。最近市販されているのは袋型の折りたたみ式のポリタンク。4リットル程度の容量で持ち手、ジッパー、注ぎ口つきで重宝すると思われる。

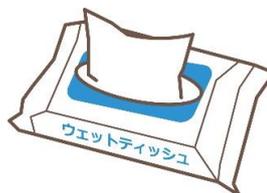
使用前⇒



使用时⇒



- (2) 長期間入浴できない場合も考え、ウェットタオルで身体を拭き取るだけでも気分転換ができるのではないかと思います。



何はなくとも 水だけは手元に確保しましょう。



「大通地区防災計画」による 平時の自主防災会の活動

平成29年度の大通コミュニティ自主防災会がスタートして2か月が過ぎました。

昨年度は地域住民の皆様のご参加をいただき「総合防災訓練」を行いました。今年度は各自治会独自の活動に重点をおき、防災会はそれらのお手伝いをさせていただくことにしました。

防災会では平成27年度に「大通地区防災計画」という防災マニュアルともいべき活動指針を作りました。これは災害発生時と平時における防災会組織とスタッフの活動指針を定めたもので、昨年の「総合防災訓練」もこれにもとづいて実施されました。マニュアルというものは常に実践検証を加えて改善・改良していかなければいざという時の役に立ちません。そういう意味で今年度は「総合防災訓練」はおこないませんが、防災スタッフによる平時の活動を実践していくことにしています。具体的には、いくつかの班に分かれて防災備品の点検・整備、各自治会における防災活動のお手伝い、活動実績や防災知識のお知らせなどを実施していきます。

こうした活動を通じて防災会スタッフは防災の知識、技術の習得をし、地域の防災力の向上に努めています。

また「大通地区防災計画」にも改善・改良が加えられ より充実したものになると思います。

これからも 地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。